

平成25年5月 保守作業(5/5)



D60の定期保守も2年目に突入。
 前回は残念な事象がいくつか見られましたが、今回は特にそういった点もなく、ほっと一安心。

真鍮製の車番プレートは、どうしても表面の酸化が進み、黒ずんでしまします。金属用の磨き剤を用いて、磨き出しを行いました。



大規模な修復を行ってから1年を超えて、少しずつ「ほころび」も見受けられるようになり、傷口が広がらないうちに補修を行いました。いちど全体を修復し、且つ定期的に保守作業を行っているからこそ、比較的小さな補修で済むのです。

D60形61号機
 (遠賀郡芦屋町)



「SL定期保守」となってはいますが、機関車ばかり綺麗になっても、周りが汚ければ意味がありません。公園も清掃し、落ち葉などを除去しました。



作業終了後のD60 61号機。機関車本体は勿論ですが、足元も綺麗に清掃されていて、美しさが更に際立ちます。
 本当は前面プレートにクリアコート吹き付ける予定だったのですが、傷が目立つため次回、改めて表面を綺麗にしてからという事になりました・・・

C11形260号機
 (中間市)



いよいよ、記念すべき第一回の保守作業です。汽車倶楽部メンバーに加え、地元からも多くの皆様に参加頂きました。



「汽車磨き」のシーン集(笑)。修復を行ってから日が浅い事もあり、目立つ汚れ等は無かったようですが、小さな塗膜の剥がれなどが発生していて、タッチアップ塗装を施す一幕も。



機関車本体のみならず、周辺の清掃／草むしりなども行いました。



C11形260号機
(中間市)

機関車の下回りを覗き込む一団。その視線の先にあったのは・・・？



本日の作業の「成果」です。



機関車はもちろん、足元も綺麗になりました。
この美しい姿がいつまでも維持される事を願ってやみません・・・



「汽車磨き」に勤しむ人々・・・
この日は絶好の行楽日和。気温もぐんぐん上昇、正しく「初夏」でした。



この機関車は、修復から7年が経過しています。
初期の修復車両という事もあり、ここ最近 傷みが目立つようになってきました。
代表・江口氏いわく「そろそろ大がかりに直さんといかんばい」。しかし、相手はデゴイチ。一筋縄ではいかないと思います・・・



D51形225号機
(直方いこいの村)

黒ずんだ前面プレートの磨き出し。頑張れ、少年！



折角磨いても、放っておけばまた表面が酸化してしまいますので、クリア塗料でコーティングすることに。



輝きを取り戻した前面プレート。
これで、しばらくは酸化することもないと思います。

C61形18号機
(汽車倶楽部)



煙室扉ハンドルを丁寧に磨きあげています。



こちらは自動連結器の磨き出し。左手に持っているのは何かの固定ピン・・・？良く分からないので、詳しい人に聞いてみます。

9600形59647号機
(汽車倶楽部)



デフレクター(除煙板)を磨いています。既にご存知かと思いますが、この59647号機は「門鉄デフ(または門デフ)」と呼ばれる独特の形状をしたデフレクターが取り付けられています。門デフは、C55/C57といったスマートな機関車に似合うと言われますが、この「キューロク」と門デフの相性も見事だと思いませんか？



ロッド周りを油を含ませたウエスで磨きます。ロッド周りは素材が無垢の状態なので、表面を油で保護していないと直ぐに錆が発生します。常に油分を切らさない事を心がけています。